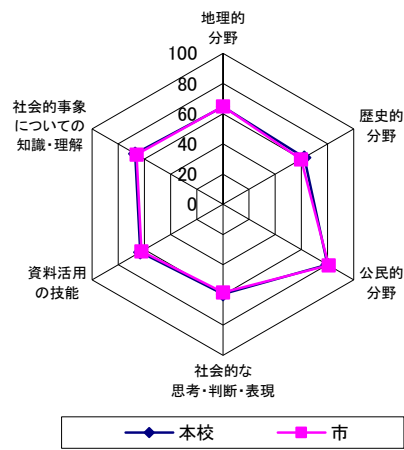


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	64.6	64.8	54.5
	歴史的分野	62.2	59.7	52.2
	公民的分野	79.9	80.9	69.4
観点別	社会的な思考・判断・表現	59.4	58.3	49.5
	資料活用技能	63.2	62.2	53.1
	社会的事象についての知識・理解	67.1	66.0	57.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	地理的分野の平均正答率が64.6%で、市平均を0.2ポイント下回った。 ○「地球の姿」と「世界から見た日本の姿」に関する問題の正答率は、市平均を数ポイント程度上回る問題が多かった。特に世界の州区分について考える問題では、市平均を7.7ポイント上回った。 ●日本の諸地域に関する問題の正答率は、5ポイント以上下回る問題が多く、特に中国・四国地方の農業について資料を基に考えさせる問題では、市平均を6.2ポイント下回った。	・資料の種類によって、問題の正答率に差があることから、授業の中で様々なタイプの資料を提示し、読み取りの作業を繰り返し行っていく。
歴史的分野	歴史的分野の平均正答率が62.2%で、市平均を2.5ポイント上回った。 ○歴史上の人物を世界遺産に関連付けて考察する問題では、市平均を10ポイントほど上回った。 ●「古代までの日本」で奈良時代の税負担・聖武天皇が大仏を造った理由を考察する問題の正答率は、市平均を2ポイントほど下回った。	・学習の基本事項が習得できていないと、思考・判断する力の向上に結び付かないことから、毎日の授業の中で、基礎・基本の復習を徹底し、繰り返して学習させるようにする。
公民的分野	公民的分野の平均正答率が79.9%で、市平均を1.0ポイント下回った。(公民は出題数が少なく、最初の単元「私たちと現代社会」から4題のみ出題された。) ○少子高齢化の進行に関する問題では、正答率が92.4%と高い正答率となり、市平均を1ポイントほど上回った。 ●情報リテラシーや情報モラルについて考察させる問題では、市平均を3.6ポイント下回った。	・公民の学習を、私たちの生活と結び付けて考察させることは重要である。公民の学習への興味・関心が高まるように、教材の選択・配列を工夫していく。

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの